

平均的なビジネスパーソンが年間で読む本の冊数が十数冊と言われる中、成功している経営者は年間 60 冊、つまり週に 1 冊以上のペースで本を読んでいるそうです。SNS やインターネットで膨大な情報が瞬時に手に入る時代に、成功者たちが今もなお「紙の本」を手にするのは、読書が優れた自己投資だからでしょう。

今季のカープ *Carp*

秋気さわやかな季節となりました。急に気温が下がることが多い時期ですので、体調には十分お気を付けください。紅葉、スポーツ、読書、食欲の秋を楽しみましょう！

さて、我らがカープ。

今季も散々な結果だったカープ。新井監督の続投が決まった。

まず今季を振り返ると、ブレイクした選手の筆頭はもちろんファビアンだ。外国人選手が当たったことによって何とか戦えたと言っても過言ではない。そこそこの成績を出したモンテロと共に、来季も頑張ってもらいたい。続いて中村奨成。成績の推移から見れば、来季最も期待できる選手だ。他はルーキーの佐々木。現状単打よりだが、怪我前が低打率だったことを考えると復帰後は大いに評価できる。中村も佐々木も 1 シーズン通していないので、どうなるか分からないが、来季の主力候補だ。主力の中では小園がタイトルホルダーとなり本格的にブレイク。中心選手として期待したい。

逆に誤算だったのは坂倉。守備のみならず打撃もイマイチでホームラン数も伸びなかった。コンディションや起用法の問題もあったと思うが、捕手は急激に戦力として低下することもあるので、昨年前半の不振と合わせて来季に大きな不安を残したと言ってもいい。まだ若いので取り戻すとは思いますが、カープはベテランに衰えが見られ、捕手層が薄くなったので何とか頑張ってもらいたい。他、開幕スタメンで期待された二俣も期待外れでほとんど戦力にならなかった。来季は捕手にも挑戦するらしいので、チャンスをつかんでほしい。

続いて投手陣。まずは思いの外よかった新人の岡本。森浦・高橋昂也も例年の成績と比べると飛躍した。育成の辻と最後に上がってきた菊地ハルン・滝田も楽しみな選手だ。現役ドラフトの鈴木健矢もちゃんと戦力になった。投手に関しては、終盤での起用で多少光が見えてきた気がする。しかし、シーズン全般を見ると、野手と違って投手は一軍に上げてはすぐに投げさせないケースが多かった。役割を固定化しているからだろうが、終盤、負け試合が増えて、若手が出てきたのを見ると、多少、起用法の問題もあったのではないかな。この辺は阪神が序盤から若手を試していたのとは対照的に見えた。

全体的にはやはり指標が収束して、成績がキッチリ悪くなった感じがした。一昨年、去年途中までは見ていて運が良いなと感じていたが、今季は運が悪いと感じることも多かった。僅差ゲームも多い中、代打策や続投策や細かい手当をしないのも気になった。とにかく今季は走塁が最悪で守備も雑。ちょっとした所をものにできず、負けるべくして負けた印象がある。

だが、9 月はある程度レギュラーも固まり、少しばかりの希望が見えてきた。結果として全然勝てていないのだが、陣容は固まってきたので、来季はスムーズには入れるだろう。続投もそれを見越してのことだと思うが、これがどう出るか。

頑張れカープ！！

エルフォルクはあなたを そしてカープを 全力応援致します！

裏面もご覧ください。

